高校ラグビー県予選

V争い 秋田工リード

来月14日 秋田市で開幕 花園懸け、9校激突

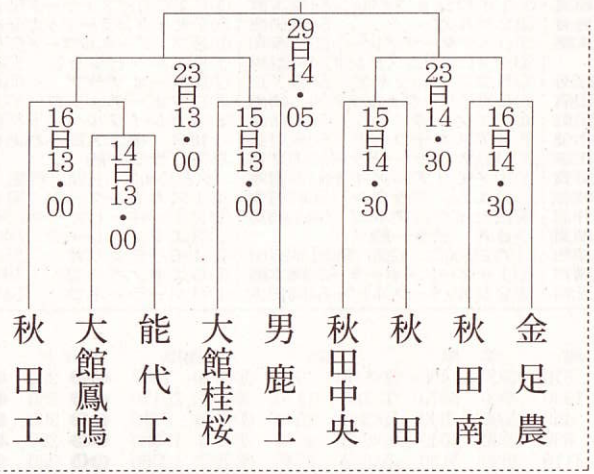
10月14日に秋田市のあきぎんスタジアムで開幕する第96回全国高校ラグビー大会県予選の組み合わせ抽選会が15日、同市のアキタパークホテルで行われた。昨年と同じ9校が出場。優勝争いは秋田工がリードし、金足農が追う展開になりそうだ。秋田中央、男鹿工がどこまで迫れるか。

抽選会では6月の全県総体上位の秋田工、金足農、秋田中央、男鹿工をシードに振り分けた。残りの5校が、くじを引く順番を決める予備抽選を行い、本抽選で対戦カードを決めた。準決勝は10月23日、決勝は29日にそれぞれ行う。

全県総体を3年ぶりに制した秋田工は、磨き抜いた伝統のスクラム、タックルに自信を深めている。どこからでも相手を崩せる攻撃力が持ち味で、FWの決定力が高い。6月の東北高校選手権1部では3位。3年ぶりの花園出場へ向け、士気が高まっている。

金足農は走力を武器とするBKが攻撃の要。リスクを恐れず、ピッチを広く使ったパス回しから得点を狙う。4月の全国選抜に初出場し予選リーグで1勝を挙げ、全県総体では準優勝を果たすなど成長著しい。

昨年覇者の秋田中央は主力がけがから復帰。守備からリズムをつくり、攻撃につなげたい。男鹿工はFWを前面に出し、どれだけ相手守備を攻略できるか鍵になりそうだ。

開会式は10月14日午後0時20分からあきぎんスタジアムで実施。選手宣誓は秋田中央の夏井大樹主将（3年）が務める。全国大会は12月27日に東大阪市の花園ラグビー場で開幕し、来年1月7日に決勝を行う。

（佐々木聖香）